

## 大迫山ウォーキング コース説明

集合地点を東広島運動公園 屋内競技場前とし、建物に沿って正面に向かって右回りで外周を歩いて半周し多目的運動場の西側出入口を出て左へ進みます。100mほど進むと右斜めの細い道を下り大迫池(通称・猿股池)に突き当たって池に沿って右へ、池の端で道が十字路になっているので左折、テクノタウン住宅街での道はT字路になるので右へ曲がって、住宅街の西端に沿って左折 住宅の一番奥「大迫山近く」まで進みます、そこは小さな公園になっており公園の向こう側は山(大迫山)とはフェンス(金網)で仕切られているが、公園の東の端付近に出入口があるので其処から山に入る。山頂へは西側からと東側からの二通りがあります、西側からのコースは心持ゆるい坂道と判断します。

頂上部付近には、太平洋戦争「第二次世界大戦」の遺跡がありますが、聞かされなければ気付かない程度の直径3m弱の小さな円形の遺跡です、山頂へは残り僅かの距離ですが登ります。

山は350mと低いですが、西から北へは視界を遮るものが余りないので眺望は好い方かと思えます、西から吉川工業団地・曾場ヶ城山・八本松地区・広島大学・鏡山・サイエンスパーク・三永水源池・東広島駅界限・洞山等が展望できる。

下山後のコースは、テクノタウン住宅街を歩いてタウンの中央の広い道を東(右)へ進み 旧道との交差点を左折、向陽中学校の西側を北方向へ向かって進み運動公園からの道に出るので左右に分かれ、左への方は運動公園に戻って解散 帰宅となります。 右へ方々は東へ進んで R375 との信号の十字路交差点でファミリーマートを左向う角に見ながら東へ東広島駅への道「歩道」を進む。約1kmほどで木製の福本地区入り口の標識の所で右折(右角地に緑化園が在る)して直進、山陽新幹線を渡るが この付近に芝桜が田圃の周りに植えられそのなかのみちを眺めながら歩きますので堪能して頂けるかと思えますので、暫らくこの付近で休憩を採りたいと思えます。その後は この道をそのまま真っ直ぐに東広島呉道(南方向)に進み道路を潜って側道に出て右折し復路の開始となります。

側道は東広島呉道路(R375)の南側に沿って山との間に南西方向に、馬木 IC に向かって側道はアップダウンをしながら進みます。途中で右折しますが、東広島呉道を跨ぐ陸橋の向こうに東屋(墓地の付帯物で休憩所)の屋根が見える陸橋を渡ります。

渡った道は決して整備された道とは言い難い状態ですが 林の中の道はヤヤ下りながら進みます。やがて新幹線の線路が見えるところで神社雷八幡神社の脇を通過して新幹線に行き当たります。左へ降りると石の階段を降ります、右へ行くとスロープを降りてどちらも新幹線の下を一度潜ってから新幹線の下を左折し R375 の歩道橋を渡り、板城小学校の脇を通過して松板川の橋を渡り、堤に沿って狭い道ですが左折し程無く旧道に出ると右折、そのまま直進すると間もなく大迫山から降りて左折したところに到達する。

「現在の国道 R375 が出来る以前、昔から在った道が旧道です」

以上が ウォーキング全コースの説明です。

# 大迫山ウォーキングコース



雷八幡神社由緒記



側道から右折で見える東屋



東屋の見える新幹線の渡線橋



福本西入口の表示板



曲がって直進の風景